

2015/2016 年度 第 5 回常任委員会 議事要旨

日時:2016 年 1 月 24 日(日) 13:30~17:10

会場:筑波大学東京キャンパス

出席者:

呑海, 加藤, 赤澤, 北川, 鈴木, 高井, 西脇, 和知, 小笠原, 米倉, 上村(記録)

配布資料:

- ① 月次会計報告
- ② 出版部報告
- ③ 「雑誌新聞総かたろぐ 2016 年版」掲載原稿ご校閲紙
- ④ 広告料入金履歴一覧
- ⑤ 会報一括発送各社見積書
- ⑥ 全国大会(広島)予算案

要旨:

1. 報告事項

1.1. 小委員会・事務局

1.1.1. 研究活動小委員会

(1) 関東 5 支部合同例会

- ・タイトル「松竹大谷図書館のクラウドファンディングによるプロジェクト」に決定した。
- ・2015 年 1 月 30 日(土)15:00-17:00, 筑波大学東京キャンパスにて開催する。
- ・テープ起こしをして原稿にしたいという希望が運営側からあったため、審議事項にて諮る。

(2) 近畿 3 支部新春合同例会

3 月 21 日(日)頃を候補として、日程の再調整を実施中である。

1.1.2. 編集小委員会

(1) 会報『大学の図書館』の進捗状況

- ・担当者を編集小委員会 ML に登録済である。
- ・11 月号・12 月号の進捗が不明である。

① 11 月号(担当:江沢)

巻頭言:江沢

特集:『大学図書館の企画展示』(東北学院大学, 筑波大学, 一橋大学)

ワンデイセミナー参加報告を掲載

全国大会(広島)開催のお知らせを掲載

② 12 月号(担当:池田)

大会報告号

初校校正中(~12 月 3 日)

「大会のまとめ」, 「大会配布資料一覧」, 「役員名簿」が未提出

③ 1 月号(担当:鈴木):12 月 21 日入稿

特集:『大図研, 北から南から』

群馬支部, 神奈川支部未着, 石川支部は辞退

④ 2 月号(担当:和知)

特集:『震災アーカイブの現在』または『震災の記録のいま』

原稿は揃った。

執筆者は会員外なので謝礼等の準備をする必要がある。

- ⑤ 3月号(担当:兵庫支部)
- ⑥ 4月号(担当:京都支部)
大図研オープンカレッジと関連付ける
- ⑦ 5月号(担当:未定)
- ⑧ 6月号(担当:全国大会実行委員会), 議案書号
- ⑨ 7月号(担当:和知)
- ⑩ 8月号(担当:兵庫支部)
- ⑪ 9月号(担当:北海道支部)
- ⑫ 10月号(担当:鈴木), 大会フラッシュ
- ⑬ 11月号(担当:宮丸(九州産業大学))
- ⑭ 12月号(担当:鈴木), 大会記録号

(2) 研究会誌

- ・締め切りを4月末として, 関東・近畿合同例会の原稿依頼をする予定である。
- ・締め切りを4月末として, 全国大会の研究発表のうち, 坂本氏へ寄稿依頼済みである。
- ・次回は7月刊行を予定している。
- ・発行スケジュールは池田副編集小委員長に確認する。

1.1.3. 広報小委員会

(1) Web

- ・「大学図書館問題研究会の問合せ先」の事務局メールアドレス変更(1月7日実施)
- ・データバックアップ(1月17日実施)
- ・各担当の作業内容について確認(1月18日実施)
- ・活動日誌は適宜更新(各支部からの情報入り次第アップ)
- ・Webの謹賀新年を外した。

(2) SNS(2015年12月17日～2016年1月16日状況)

- ・Twitter:投稿 867(6件投稿), フォロワー657(+8), リツイート 6, いいね(お気に入り)1
- ・Facebook:いいね 259(+11), 投稿 6件(見た人 1335, いいね! 70)

(3) 支部だより

- ・新書式の【電子版】151015_151114 (12月31日送信)
- ・151215_160114の情報を全国委員に依頼(1月18日送信)

1.1.4. 組織小委員会

(1) 会員数:484名(2015年12月20日現在, 前月:484名)

(2) 入退会者数:1月分(2015年12月21日～2016年1月19日)

- ① 入会(0名)
- ② 退会(0名)
- ③ 入退会希望

(3) ML登録アドレス数:374

(4) その他

出版部のデータを确认后, 組織担当からの一元化を行う予定である。

1.1.5. 全国大会小委員会

- ・会報2015年11月号および2016年1月号に全国大会のお知らせ掲載する予定である。
- ・11月号が未刊行なので出ていない状況である。

1.1.6. 事務局

(1) 財政

資料①に基づき説明した。

(2) 出版部

資料②に基づき説明した。

消費税の記述法について、確認する必要がある。

封筒は訂正しなくてよい旨、出版部に連絡する。

1.1.7. ワーキング・グループ

報告事項なし

2. 審議事項

2.1. 小委員会・事務局

2.1.1. 研究活動小委員会

・大図研オープンカレッジの運営体制(京都支部)およびスケジュールを確認した。

・京都支部所属の運営サポート会員を中心として計画中である。

・MLの登録状況を確認中であり、今後は、登録メンバーを毎年改訂する。

2.1.2. 編集小委員会

(1) 会報への全国大会関係記事の掲載のスケジュール

・全体スケジュールは鈴木編集小委員長が調整している。

・11月号から1月号の刊行順について審議した結果、1月号を先に発行し、11月号・12月号はお詫び状を入れて2月中に同送することとなった。お詫び状の封入する手間賃、広報が必要である。

① 12月号

下記の下記原稿が未着である。

・ 第46回大会のまとめ課題別分科会

➤ 第1分科会の司会

➤ 第4分科会の司会・記録

・ 大会役員名簿

・ 大会配布資料一覧

② 2月号

・ 研究グループ募集(4月末締切、担当：西脇研究グループWG長)

・ この号から6月号まで、呑海委員長から、来年度の体制の変更に関するコラムを掲載する。

③ 3月号

全国大会研究発表・企業協賛・自主企画募集を掲載する。

④ 4月号

会費納入方法の変更(担当：赤澤会費徴収WG長)に関する記事を掲載する。

⑤ 5月号

全国大会スケジュールを掲載する。

⑥ 6月号

・ 第2号議案(決算報告・予算案)以外の全ての全国大会関係情報を掲載する。

・ 地域グループの概要報告を掲載する。

(2) 7月号

研究グループの結果報告を掲載する。

第2号議案は別刷りとし、7月号と同送する。

会誌投稿規定改定と査読体制(担当:北川)

・修正が必要とされた点は、下記のとおりである。

- 組織面と投稿規定を分けるべきである。
- まず査読体制、編集委員会体制をどうするのかを決定する必要がある。
- 会員の不利益にならないように、査読体制を明記する必要がある。
- 論文と報告はなにが違うのかを規定する必要がある。
- 再投稿についても定めておく必要がある。

・委員会がやることと、原稿をどうやって刊行していくかの流れを整理する必要があること、現状の作業を整理し、過程の段階から常任 ML に諮る必要があることについて指摘された。

2.1.3. 広報小委員会

- ・ウェブページの更新を行う(問い合わせ先、委員名簿、運営体制)。
- ・会報刊行遅延を掲載する必要がある。

2.1.4. 組織小委員会

- ・会費徴収 WG との調整(特に名簿管理)が必要である。
- ・一括配送についての宛名の分割を4月末までに終える(担当:大田原組織小委員長)。

2.1.5. 事務局

(1) 会報発送の OPP 封筒への変更については、問題はないことが確認された。

(2) 入会申込書

大会後すみやかに全面改訂する必要がある。

(3) 『雑誌新聞総かたろぐ』2016年版の校閲については、資料③に基づき説明された。下記の変更を反映させ、事務局からメディアリサーチに回答する。

① 発行者データ(P.1)

- ・ 発行者(者)としては、「大学図書館問題研究会出版部」でなく、「大学図書館問題研究会」の方がよい。
- ・ 奥付の発行元は『大学図書館問題研究会誌』が「大学図書館問題研究会・事務局」(注:40号は「事務局」),『大学の図書館』が「大学図書館問題研究会」とする。

② 刊行物データ(P.2)

- ・ 「刊行物名」の中の「研究会研究会誌」は、正しくは「研究会誌」である。
- ・ 「刊行物名カナヨミ」も上記同様とする。
- ・ 【17. 創刊年月日】は、「1971.08.00」とする(P.3の『大学の図書館』に合わせて月まで入れる)。
- ・ 【22. 頁数(1冊平均)】について、直近4号の平均は47.8ページであるため、「50」とする。
(『大学図書館問題研究会誌』に改題してからの16冊の平均は61.8ページ)
- ・ 【32. 料金補足】のデータは、【25. 単価】と【26. 送料共/別】に移動した方がよい。単価は「1000」でよい(ここ最近はずっと1,000円で販売)。
- ・ 「〒別」は、「〒共」とする(実際、送料込で販売)。
- ・ 【35. 発売発行日】は「4,8月頃」とする
(2014年は4月,8月,2015年は3月,8月に発行されている)。
- ・ 【44. 内容】について、P.3の『大学の図書館誌』に合わせて「当初、「大図研論

文集」として創刊，2004年2月より現題号に改題」を入れる。

メールアドレスは不要(必要なら「発行社(者)ホームページ」から迎れる)

- ・ 広告料は，予稿集との兼ね合いも有るため，30000円/ページとする

(4) 出版物の広告料について，資料④に基づき説明された。

会報の発送手続きの変更について，資料⑤に基づき説明された。合い見積り結果，印刷から発送まで，1月号の発行以降，クイックスへ委託することとなった。クイックスへは事務局から連絡する。

2.2. ワーキング・グループ

2.2.1. 研究グループ WG

(1) 支部から地域グループへの移行スケジュール

① 2015年11月の全国委員会で，支部制から地域グループ制移行のための手続きを審議した。

② 2016年2月末までに，各支部の方針を決定する。

③ 2016年6月の議案書号に掲載する。

(2) 研究グループ募集の原稿，ウェブページ，申込フォームや受付体制

2月末までに，申込みフォームを設定する(設定担当:赤澤，内容担当:西脇研究グループWG長)

2.2.2. 会費徴収 WG

審議事項なし

2.2.3. 会員組織 WG

審議事項なし

2.2.4. 出版物管理 WG

・出版物管理の今後を引き続き検討する。

・論点整理を引き続き検討する。

2.2.5. 全国大会 WG

・資料⑥に基づき，予算案を検討した。

・大会バックを作成するかどうかは，収入に応じて判断する。

・分科会のサブタイトルをつけるのはどうか。

・次回常任委員会で，分科会に関する案を持ち寄る

・SNSでの広報も実施する。

2.3. その他

・会計監査人候補への連絡を確認する。

・大図研の呼称(略称)を引き続き検討する。

3. 会議予定

常任委員会:2016年1月24日(日)

全国委員会:2016年3月20日(日)

会計監査:2016年7月24日(日)

以上